

令和6年度第2回指定管理者候補者選定委員会 議事録（概要）

日時：令和6年(2024年)10月9日（水）18:00～

場所：市役所8階大会議室

1 開会

（事務局）

- ・ これより、「令和6年度第2回函館市指定管理者候補者選定委員会」を開会する。
- ・ 本日は、委員7名中7名が出席しており、会議が成立することを報告する。
- ・ それでは、以後、会議の進行は委員長にお願いする。

2 選定施設・選定方法等の確認

（委員長）

- ・ それでは、本日の選定施設や選定方法等について、事務局に説明を求めたい。

（事務局）

- ・ 会議は非公開で行う。ただし、出席した委員名は、選定結果とともに後日公表することとなる。また、議事録についても、発言した委員名が特定されない形で概要版を公開するので、あらかじめご承知おき願いたい。
- ・ 本日の選定対象施設は、公募施設で現指定管理者以外の1団体からの応募があった施設「函館市地域交流まちづくりセンター」、「函館市東山墓園」の2件、現指定管理者のみの応募があった施設が「函館市都市公園（東部地区）」、「函館市都市公園（西部地区）」、「函館市都市公園（北部地区）」、「函館市図書館（中央図書館1，図書室4（湯川，旭岡，千歳，港），桔梗配本所1，移動図書館1）」、「函館市民会館，函館アリーナ」の5件で合計7件である。
- ・ 候補者の選定にあたって、各委員の採点結果をもとに、委員の合意により候補者を決定する「総合点数方式」としているが、既存施設のうち応募者が現指定管理者1団体のみの場合で、引き続き適正な管理が継続されると指定管理者候補者選定委員会において判断した場合、採点せずに可否を決める「採決方式」としている。
- ・ 審査にあたっては、応募者や所管部局に対し、ヒアリングすることを原則としているが、既存施設で応募者が現指定管理者1団体のみの場合は、あらかじめ委員よりヒアリングの省略について同意を得ているため、ヒアリングを省略したい。
- ・ 説明は以上である。

（委員長）

- ・ 選定方法は、総合点数方式施設の2件、採決方式施設の5件。
- ・ また、ヒアリングの実施は、総合点数方式施設の2件としたいが良いか。

（選定委員）

- ・ 異議なし。

3 函館市地域交流まちづくりセンターの審査

(委員長)

- ・ それでは、「まちセン」へのヒアリングを行う。

(まちセン 入室)

(まちセンから応募内容についての説明後，質疑応答)

【質疑応答の概要】

◆選定委員	◆ 利用料金制から使用料に変わるが，利用者の確保や使用料収入の増についての考えを聞きたい。
◇まちセン	◇ 使用料への変更は大きな転換点。平等利用を保ち，引き続き利用してもらえようアプローチし，市民活動の活性化につながる使い方にしたい。 営業とテクニカルな相談により，まちづくりセンターに行くと丁寧に対応してくれるというイメージを広げ，いろいろな方に使ってもらえよう働きかけたい。
◆選定委員	◆ 人口減少対策として，移住サポート事業の役割が大きくなってきている。既存事業に加えて考えているものがあれば聞きたい。
◇まちセン	◇ 移住を検討している方へのアプローチが重要であり，SNSを使って移住者の居住地によって発信する情報を変えたり，移住に関する市民活動を行う団体と協力して，函館の良いところ・悪いところを的確に発信したい。 また，ZOOM などによる移住サロンのハイブリッド開催により，実際に来られない方への参加を働きかけ，先輩移住者と移住を検討している方との生の声を届け，函館の良いところと悪いところを納得してもらい，定住につなげたい。
◆選定委員	◆ 収支計画書の中で，非常勤スタッフの時給が1,000円とされており，申請後に最低賃金が1,010円に改正されたため，時給額の確認をお願いしたい。
◇まちセン	◇ すでに時給を上げている。経費を抑えて給与を上げることで，職員のモチベーションを上げられるようにしたい。

◆選定委員	◆ 事業計画書にあるターゲット別の広報手段において、主なターゲットとは、それぞれどのような年齢層の区分で考えているのか。
◇まちセン	◇ 主なターゲットを子ども（主に小学生・中学生・高校生）、若者（18 歳以上）、シニア（30～40 代）、高齢者（リタイアされた方）という括りで分け、18 歳以上の若者を中心に SNS、子どもにはチラシを配布するなどデジタルとアナログを駆使し、あらゆるメディアを使っていく考えである。
◆選定委員	◆ 利用者の意見・要望の運営への反映について、要望があったが施設の利用規約や設備的な制限によりできないことや、もっと柔軟な対応により利用者の増加につながるようなアイデアなどあれば聞きたい。
◇まちセン	◇ 利用者の意見は普段からのコミュニケーション、意見箱、報告書等に対応しており、条例に沿った運営が大前提ではあるが、工夫や捉え方により実現可能なこともよくある。 青年センターやGスクエアなど他の指定管理施設での管理経験を生かし、他の施設との意見の比較や施設間の連携により、市民活動や若者支援の底上げにつなげたい。
◆選定委員	◆ 他の指定管理施設の管理経験から活かせるノウハウがあれば聞きたい。
◇まちセン	◇ 起業したい、料理したい、デザインをやりたいなど様々な相談に応えられるワンストップ窓口を目指している。これまでの経験から、人的な繋がりや連携によって、活動場所や人の紹介などの支援ができるのではないかと考えている。
◆選定委員	◆ 現在の施設運営に対し、改善が必要な点について、今後どのように対処する考えなのか。
◇まちセン	◇ 駐車場の不足に対して、イベントの際には、今後も企業局の駐車場を借りるなど連携を図りたい。また、今後増加が見込まれる施設の修繕については、予防安全型の管理を行い、修繕費用の削減を図りたい。 サービスについても、タブレットの導入や AI の活用などを

	先回りして提供していきたい。
--	----------------

(まちセン 退室)

4 函館市地域交流まちづくりセンターの採点

(委員長)

- ・ 応募団体へのヒアリングが終了したが、所管部局にヒアリングする事項はあるか。

(選定委員)

- ・ なし

(委員長)

- ・ それでは、採点を実施する。

(各委員「採点」)

(委員長)

- ・ それでは、後ほど事務局で集計した採点結果をもとに、候補者を決定することとし、次の審査に移る。

5 函館市東山墓園の審査

(委員長)

- ・ 次に、函館市東山墓園の審査を行う。
- ・ それでは、「株式会社マルゼンシステムズ」（以下、「マルゼン」という。）のヒアリングを行う。

(マルゼン 入室)

(マルゼンから応募内容についての説明後、質疑応答)

【質疑応答の概要】

◆選定委員	◆ 墓園の環境整備は重要であり、他の施設での経験を活かした芝や花壇等の管理方法について聞きたい。
◇マルゼン	◇ 芝等の管理について、他の施設で管理経験があるので、問題無いと考えている。樹木などは仕様どおりの剪定だけではなく、日々の点検の中で倒木のおそれのある木の剪定など安全管理を行いたい。
◆選定委員	◆ 第三者への委託業務について、現在、白石公園で委託している業者と同じ業者であるのか。
◇マルゼン	◇ ごみ処理は地域毎に業者が分かれているため別の業者であ

	り，自家用電気工作物などは同じ業者を可能な範囲で考えている。
◆選定委員	◆ 最近，どの業界も人手不足で人件費が上昇し，計画書の給与水準で人員を集めることについて，難しい状況が予想されるがどのように考えているか。
◇マルゼン	◇ 人件費は毎年上がるような賃金設定をしている。また，これまでの運営管理経験から，立地や作業・業務内容などを考慮し，人件費を計上している。
◆選定委員	◆ 兼務ではなく専任になるのか。
◇マルゼン	◇ 専任で考えている。
◆選定委員	◆ 利用者の要望・意見に対し，重要な案件は市と協議するとしているが，重要なものとそれ以外の判断基準はどのようなものか。
◇マルゼン	◇ 内容にもよるが，例えば，金額面で年間 30 万円を超えるような対応が必要なものであれば，市に相談することとしている。 たとえば，他の指定管理施設であったような，トイレを洋式にしてほしい，ウォシュレットに変えてほしいなどの要望があれば，市と相談して予算を見ながら対応したい。
◆選定委員	◆ 東山墓園の指定管理者に選定された場合，現指定管理者との引き継ぎのポイントをどのように考えているか。
◇マルゼン	◇ 人的な部分では，現在の方が移籍して残ってもらえるのか，そのほか，木の管理と申請業務の引き継ぎをしっかりと受けたい。

(マルゼン 退室)

6 函館市東山墓園の採点

(委員長)

- ・ 応募団体へのヒアリングは終了したが、所管部局にヒアリングする事項はあるか。

(選定委員)

- ・ なし

(委員長)

- ・ それでは、採点を実施する。

(各委員「採点」)

(委員長)

- ・ それでは、後ほど事務局で集計した採点結果をもとに、候補者を決定することとし、次に現指定管理者のみの応募があった公募施設 5 件の候補者の決定に移る。

7 公募 5 施設（現指定管理者のみの応募）の候補者の決定

施 設 名	申 請 団 体
函館市都市公園（東部）	函館市公園管理コンソーシアム
函館市都市公園（西部）	函館市公園管理コンソーシアム
函館市都市公園（北部）	函館市公園管理コンソーシアム
函館市図書館（中央図書館 1，図書室 4（湯川，旭岡，千歳，港），桔梗配本所 1，移動図書館 1）	図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体
函館市民会館，函館アリーナ	函館市文化スポーツ振興財団・コナミスポーツグループ

(委員長)

- ・ 次に、公募施設のうち既存施設で、応募者が現指定管理者 1 団体のみの施設 5 件について、審査表を確認したい。なお、採決にあたり、選定委員 1 名から今回応募のあった「函館市都市公園（東部・西部・北部地区）」の利害関係人に相当するとの申し出があったため、当該施設の評価・採決からは除斥している。
- ・ 審査において、「函館市図書館」では、授乳室をパーテーションで増やすとのことだが、外から覗けないような配慮を願いたいとの意見がでている。
- ・ 以上の意見について、またその他、各委員から何か意見はあるか。

(選定委員)

- ・ なし

(委員長)

- ・ 以上の施設 5 件について、記載のとおり、それぞれの団体を指定管理者候補者として選定することに異議はないか。

(選定委員)

- ・ なし

(委員長)

- ・ それでは、記載のとおり対象施設 5 件の各応募団体を指定管理者候補者として選定する。

8 函館市地域交流まちづくりセンター・函館市東山墓園の候補者の決定

(委員長)

- ・ 最後に「函館市地域交流まちづくりセンター」と「函館市東山墓園」の指定管理者候補者を選定する。
- ・ それでは、事務局で集計した採点表を確認してほしい。
- ・ はじめに、「函館市地域交流まちづくりセンター」について、「まちセン」が 300 点満点中、平均 235 点であり、「まちセン」を指定管理者候補者として選定することに異議はないか。

(選定委員)

- ・ 異議なし

(委員長)

- ・ それでは、異議がないので、「まちセン」を指定管理者候補者として選定する。

(委員長)

- ・ 次に、「函館市東山墓園」の指定管理者候補者を選定する。
- ・ 「株式会社マルゼンシステムズ」が 300 点満点中、平均 224 点であり、「株式会社マルゼンシステムズ」を指定管理者候補者として選定することに異議はないか。

(選定委員)

- ・ 異議なし

(委員長)

- ・ それでは、異議がないので、「株式会社マルゼンシステムズ」を指定管理者候補者として選定する。
- ・ 以上で、本日の選定委員会を閉会する。